

文化庁・地域の核となる美術館・博物館支援事業

文化財レスキュー企画展



金華山と 鮎川浜の歩んだ近代



一人ひとりの
くらしの風景が
みえてくる

入場
無料

平成27年
期間 8/9(日)~12(水)

9日は13:00~16:00、10・11日は10:00~16:00、12日は10:00~14:00

場所 牡鹿公民館(牡鹿保健福祉センター「清優館」)と
おしかのれん街前テント(石巻市鮎川)

主催 東北学院大学博物館
牡鹿半島・思い出広場実行委員会

お問合せ 東北学院大学博物館
仙台市青葉区土樋一丁目3-1 TEL.022-264-6920

展示内容

東北学院大学では、東日本大震災で被災した牡鹿半島の文化財等の保全作業に取り組んできました。昨年度末にはその作業を終え、文化財を石巻市教育委員会に返却しました。

今年度からは、レスキューされた文化財等を使った小さな展示会を開催していきたいと思っています。今回は、聖地・金華山への信仰や生活のかかわりを示す民具や古写真、モノクロの映像を展示します。鮎川浜をはじめとする牡鹿半島の浦々では、金華山に豊漁や家内安全の願いをかけて祈ってきました。また、鮎川浜からは金華山への渡船が営まれ、金華山観光の玄関口としてにぎわってきました。

かつてのくらしのイメージを思い起こしてもらいながら、復興していく地域がもともと持っていた文化に誇りを取り戻してもらおうきっかけにできればと思います。

東北学院大学文学部歴史学科 准教授 加藤 幸治

文化財レスキュー活動の紹介



東北学院大学博物館は、東日本大震災で被災した石巻市鮎川収蔵庫の民俗・考古資料など、牡鹿半島の歴史と文化を物語る様々な資料を一時的に保管してきました。資料は歴史学科の学生が中心となり、二酸化炭素殺虫や脱塩処理、クリーニング、資料整理などを進めてきました。

資料の情報を収集する活動



これまで、10回にわたって保存処理が終わった文化財を展示する「牡鹿半島のくらし展」を開催してきました。今年の6月21、22日には、牡鹿公民館で展示を行いました。来館していただいた地域の方々に展示を見てもらいながら、幅広い世代の方々にかつての牡鹿でのくらしといった、様々な思い出を学生に語っていただいています。

イベントいろいろ

ayu café 鮎カフェ

昔の写真や映像を見ながら、
かつての鮎川について
語り合ってみませんか？

緑日 コーナー

のれん街前に
あそびにおいで！

ちびったち集まれ！
やさしいお姉さん・お兄さんと
一緒に遊ぼう！
景品もあるよ！

無料配布！



東北学院大学
文化財レスキューチーム
公式！キャラクター
みんぞくん



鮎川の古写真を多数収録した

『鮎川浜の賑わい—よみがえる60年前の古写真帖—』
(東北学院大学博物館編)を、会場で無料配布します。
第二弾は11月刊行予定・・・coming soon!

ACCESS

